

株式会社 T&Dホールディングス

2009年3月期第1四半期
決算のご説明

・表紙

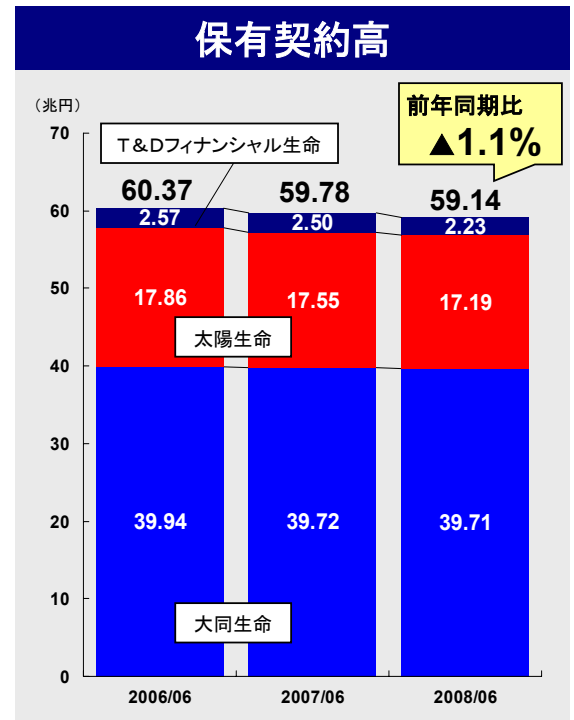
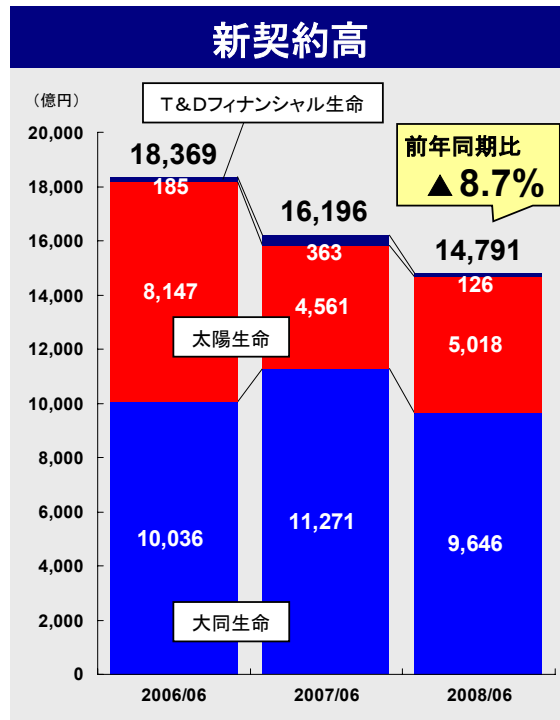
- 生保3社合計の新契約高は前年同期を下回った一方、解約失効高は減少。保有契約高は年度始から微減
- 利息及び配当金等収入の減少などにより、基礎利益・経常利益・四半期純利益が前年同期に比べて減少

・T&Dホールディングスの2009年3月期第1四半期の業績のポイントを2点挙げます。

・1点目に、生保3社合計の新契約高は前年同期を下回った一方、解約失効高は減少しました。保有契約高は年度始から微減となりました。

・2点目に、利息及び配当金等収入の減少などにより、基礎利益・経常利益・四半期純利益が前年同期に比べて減少しました。

契約業績



*個人保険・個人年金保険合計 ** 新契約高には、転換による純増加を含みます。

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

- ・当四半期の生保3社合計の新契約高は1兆4,791億円となり、前年同期から8.7%減少しました。
- ・また、保有契約高は59兆1,431億円となり、前年同期から1.1%の減少、年度始の59兆3,403億円からは微減(▲0.3%)となりました。
- ・次ページ以降、各社ごとの契約業績の詳細をご説明します。

契約業績: 大同生命

(億円)

	2008年 6月期	2007年 6月期	増減率	
新契約高*				
個人保険・個人年金合計	9,646	11,271	▲ 14.4%	前年同期のような料率改定等の プラス要因がなかったことによる
うち個人定期保険	9,317	10,922	▲ 14.7%	
減少契約高**				
個人保険・個人年金合計	11,486	11,352	1.2%	
うち個人定期保険	10,658	10,504	1.5%	
うち解約失効高	9,206	9,127	0.9%	
解約失効率(年換算)***	9.23%	9.19%	0.04P	
うち個人定期保険	8,728	8,636	1.1%	
保有契約高				年度始より▲1,840億円
個人保険・個人年金合計	397,131	397,239	▲ 0.0%	年度始より▲1,341億円
うち個人定期保険	360,412	358,599	0.5%	主に新契約高の減少による
新契約年換算保険料*	152	175	▲ 13.0%	
保有契約年換算保険料	6,854	6,904	▲ 0.7%	

* 新契約には、転換による純増加を含みます。
 ** 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分
 *** 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

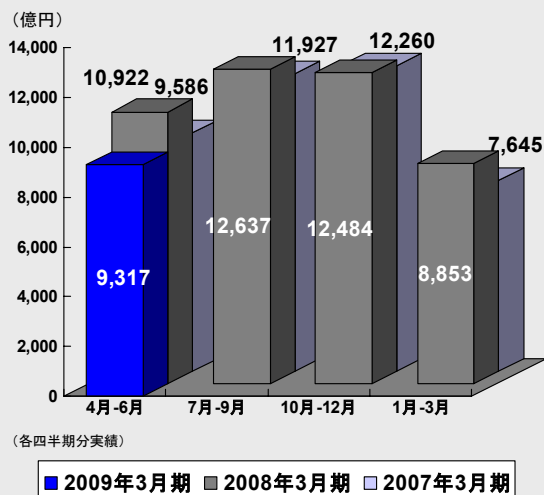
・大同生命の新契約高は9,646億円となり、前年同期から14.4%減少しました。また、主力の個人定期保険の新契約高は9,317億円となり、前年同期から14.7%減少しました。これは、前第1四半期には4月の保険料引き下げなどのプラス要因があった一方、当第1四半期はこのような要因がなかったことによります。

・解約失効高は9,206億円となり、前年同期より0.9%の増加となりました。また、解約失効率は年換算で9.23%となり、前年同期より0.04ポイント上昇しました。これは、景況感悪化の影響などもあり、キャッシュバリューのある長期の定期保険を中心に解約が増加したことによります。

・以上の結果、保有契約高は39兆7,131億円となり、年度始(39兆8,971億円)から減少しました。

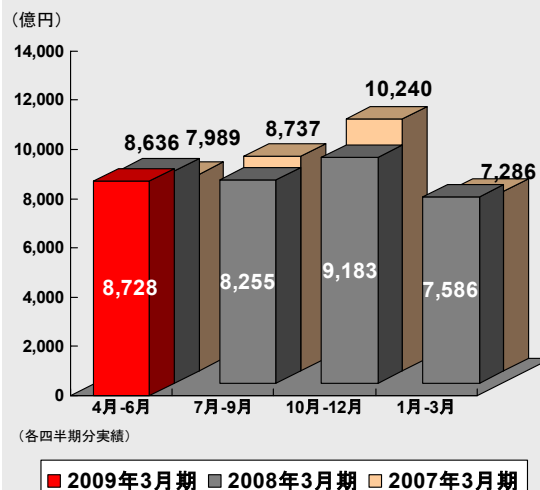
四半期別業績推移:大同生命 (個人定期保険)

新契約高*の推移



* 新契約高には、転換による純増加を含みます。

解約失効高の推移



・主力の個人定期保険について、四半期別の新契約高および解約失効高の推移をグラフに表しています。

契約業績: 太陽生命

(億円)			
	2008年 6月期	2007年 6月期	増減率
新契約高 *			
個人保険・個人年金合計	5,018	4,561	10.0%
うち保障性商品	4,502	4,098	9.8%
うち転換による純増加	790	791	▲ 0.1%
減少契約高 **			
個人保険・個人年金合計	4,852	5,473	▲ 11.3%
うち解約失効高	3,143	3,704	▲ 15.1%
解約失効率(年換算) ***	7.32%	8.40%	▲ 1.08P
保有契約高			
個人保険・個人年金合計	171,988	175,533	▲ 2.0%
うち保障性商品	124,630	126,305	▲ 1.3%
新契約年換算保険料 *	98	94	4.8%
保有契約年換算保険料	6,311	6,555	▲ 3.7%

・主力商品の「保険組曲」の販売高増加による
 ・「太陽生命の保険組曲」(新契約・転換増合計)3,550億円(前年同期比+14.0%)

継続率を高める施策を引き続き注力したことによる

・年度始より166億円増加
 ・保障性商品の占率は72.5%(年度始より0.4ポイント増)

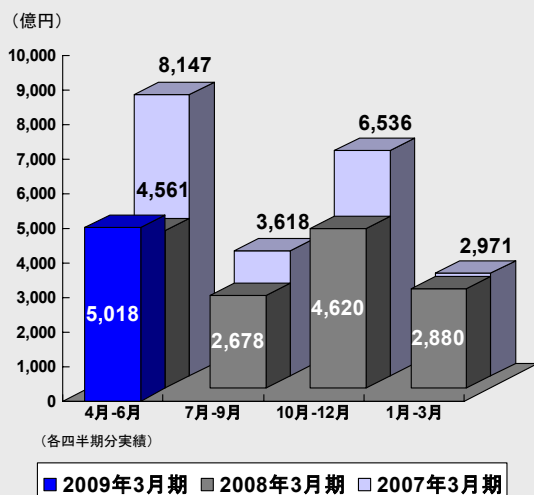
うち第三分野(前年同期比):
 ・新契約25億円(▲4.9%)
 ・保有契約1,109億円(▲0.9%)

* 新契約には、転換による純増加を含みます。
 ** 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分
 *** 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4

- ・太陽生命の新契約高は、主力の保険組曲の販売高が増加したことなどにより、前年同期から10%増加し、5,018億円となりました。
- ・また、解約失効高は良質契約の継続率を高める施策に引き続き注力したことにより、前年同期から15.1%減少しました。解約失効率も1.08ポイント改善し、7.32%となりました。
- ・以上の結果、保有契約高は年度始より166億円の純増加となる17兆1,988億円となりました。

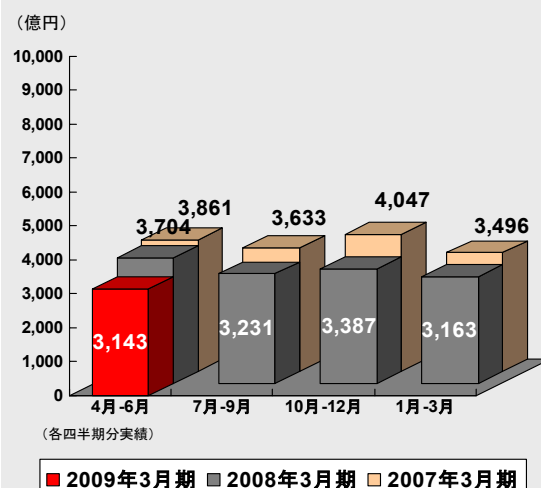
四半期別業績推移: 太陽生命 (個人保険・個人年金保険)

新契約高*の推移



* 新契約高には、転換による純増加を含みます。

解約失効高の推移



・太陽生命の四半期別の新契約高および解約失効高の推移については、グラフのとおりです。

契約業績：T&Dフィナンシャル生命



変額個人年金販売状況

	2008年6月期		2007年6月期	
	件数	収入保険料	件数	収入保険料
販売高	1,769件	135億円	4,625件	402億円
うち銀行窓販*	1,719件	129億円	3,900件	327億円
期末販売代理店*	54銀行、3証券会社、2その他		50銀行、3証券会社、1その他	

*銀行には信用金庫を含みます。

(億円)

	2008年 6月期	2007年 6月期	増減率
新契約高*			
変額個人年金	126	363	▲ 65.2%
減少契約高**			
個人保険・個人年金合計	424	503	▲ 15.7%
うち解約失効高	369	484	▲ 23.7%
うち変額個人年金	48	96	▲ 49.5%
解約失効率(年換算)***	3.25%	6.19%	▲ 2.94P
保有契約高			
個人保険・個人年金合計	22,311	25,092	▲ 11.1%
うち変額個人年金	6,182	6,675	▲ 7.4%
新契約年換算保険料*	17	50	▲ 65.7%
保有契約年換算保険料	996	957	4.1%

* 新契約には、転換による純増加を含みます ** 減少契約高 = 新契約高 - 各前年度末からの保有契約高の増加分
*** 解約失効率(年換算) = 解約失効高 / 年度始保有契約高 × 4

下記の新契約高に中途増額分の保険料9億円を加えた、収入保険料ベースの販売実績を記載

主に新商品投入の遅れにより前年同期より減少。新商品(販売名称:ファイブテン)は6月末より販売を開始

変額年金の保有件数、保有契約高は年度始から1,141件、214億円の増加

8

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・T&Dフィナンシャル生命の変額年金の新契約高は、前年同期より65.2%減少の126億円となりました。これは、同社の新商品投入が遅れたことが主な要因です。

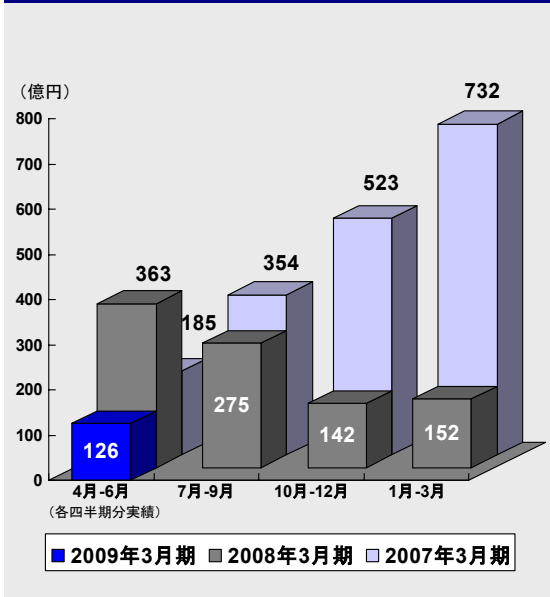
・なお、6月末に変額年金新商品「ファイブテン」の販売を開始しました。この商品は最短5年で年金原資を100%保証するもので、既に大手銀行をはじめとする11代理店で販売を開始しています。

・以上の結果、変額年金の保有契約高は運用環境が改善し、積立金が増加したことなどにより、年度始から214億円増加し、6,182億円となりました。

・なお、金融機関代理店数は本日(2008年8月12日)現在、販売開始準備中4店を含め63代理店となりました。

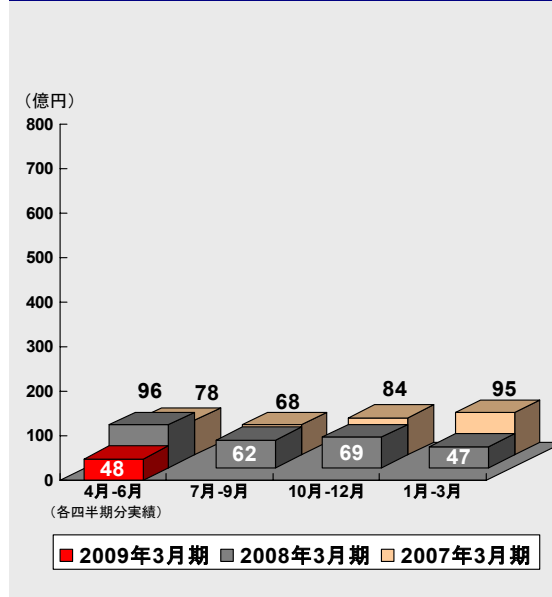
四半期別業績推移:T&Dフィナンシャル生命 (変額個人年金)

新契約高*の推移



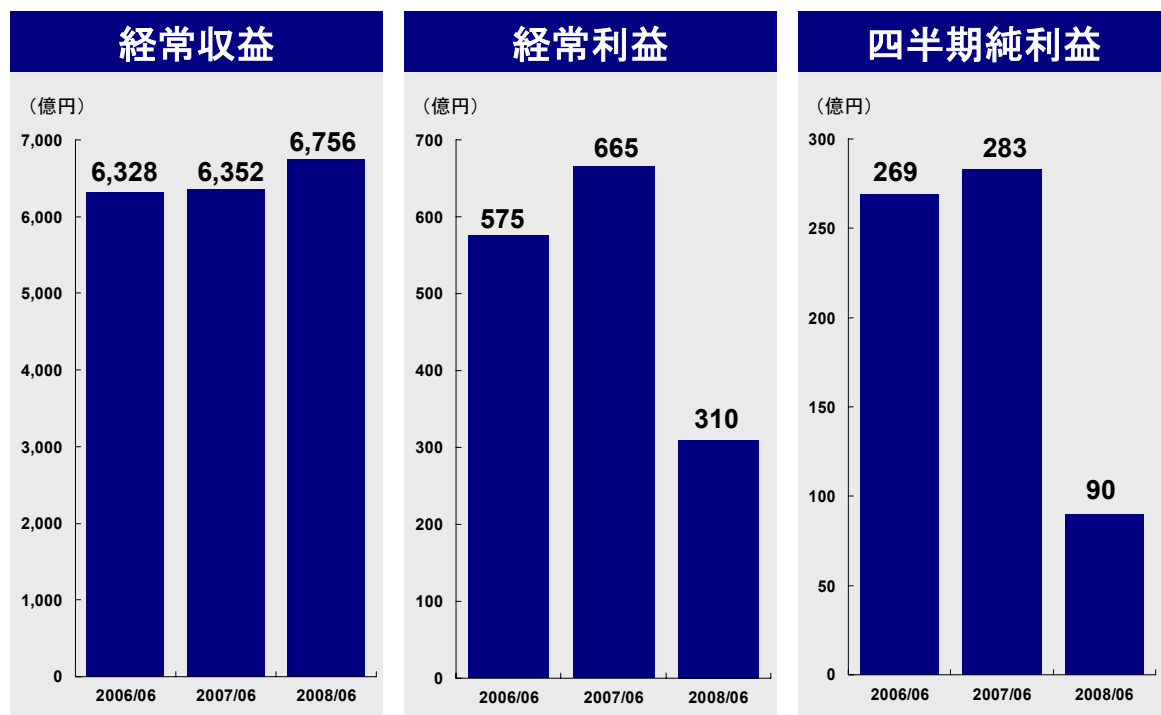
* 新契約高には、転換による純増加を含みます。

解約失効高の推移



・主力の変額年金について、四半期別の新契約高および解約失効高の推移をグラフに表しています。

連結主要収支



株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

- ・連結主要収支はグラフのとおりです。
- ・経常利益・四半期純利益がそれぞれ前年同期より減少しています。
- ・次ページにて主要収支の詳細をご説明します。

連結損益計算書(要約)

	2008年 6月期	2007年 6月期	(億円) 増減額	
経常収益	6,756	6,352	404	・大同生命: +25億円 ・太陽生命: ▲71億円 ・T&Dフィナンシャル生命: ▲289億円
保険料等収入	3,948	4,284	▲ 336	
資産運用収益	1,320	1,561	▲ 240	・大同生命: 主にプライベートエクイティファンドからの分配金減少、投資信託の分配金の減少による
うち利息及び配当金等収入	625	751	▲ 125	・太陽生命: 主に外貨建債券の利息減少、国内投信の分配金の減少による
うち金銭の信託運用益	-	48	▲ 48	
うち売買目的有価証券運用益	134	148	▲ 13	
うち有価証券売却益	326	326	0	
うち特別勘定資産運用益	227	280	▲ 53	
その他経常収益	1,487	506	981	
うち責任準備金戻入額	1,239	300	939	
経常費用	6,445	5,686	758	・大同生命: +564億円 ・太陽生命: +48億円 ・T&Dフィナンシャル生命: ▲57億円
保険金等支払金	5,148	4,593	555	
責任準備金等繰入額	2	2	▲ 0	
資産運用費用	540	396	144	
うち金銭の信託運用損	50	-	50	
うち有価証券売却損	77	51	26	大同生命: +82億円 国内プライベートエクイティファンド(その他の証券)内の株式の評価損計上等による
うち有価証券評価損	106	11	95	
うち金融派生商品費用	239	239	0	
事業費	524	516	8	
その他経常費用	229	178	50	
経常利益	310	665	▲ 354	
特別損益	▲ 12	▲ 78	65	価格変動準備金繰入額(前年同期比) 17億円(▲51億円) うち超過繰入 10億円(▲47億円)
契約者配当準備金繰入額	105	121	▲ 15	
税金等調整前四半期純利益	193	465	▲ 272	
法人税等(含む調整額)	102	182	▲ 80	
四半期純利益	90	283	▲ 192	

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

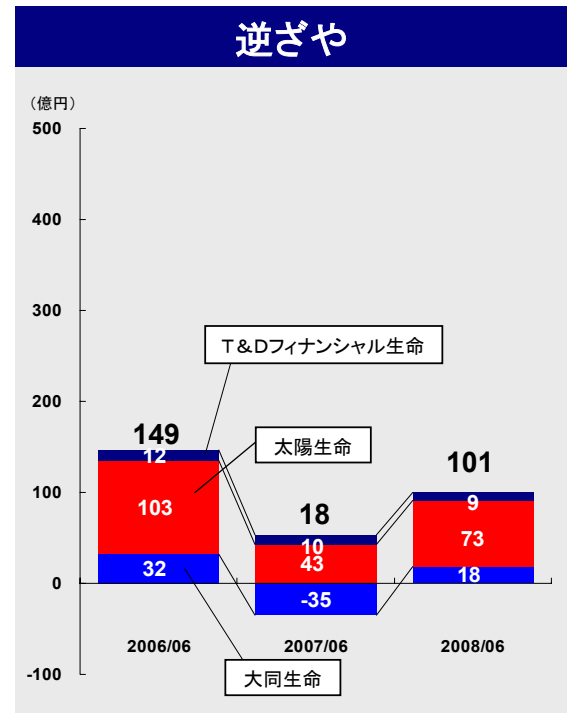
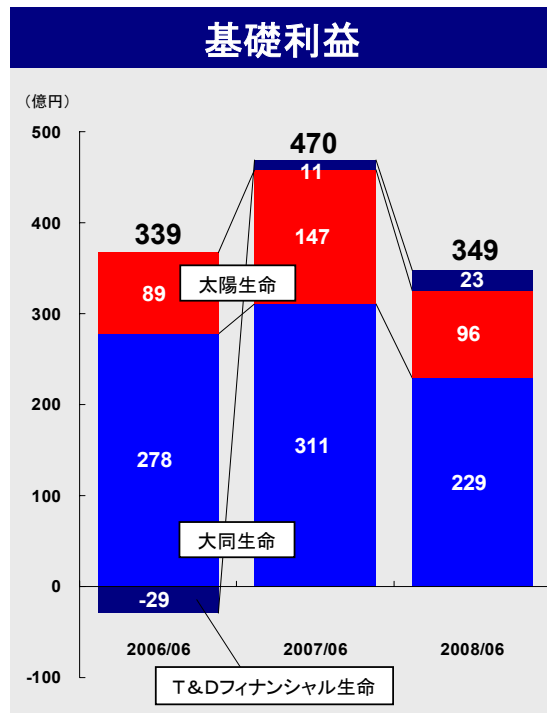
・連結損益計算書はご覧のとおりです。ここでは、経常利益と四半期純利益についてご説明いたします。

・まず、経常利益は310億円となり、前年同期より354億円減少しました。これは利息及び配当金等収入が125億円、金銭の信託運用損益がネットで98億円それぞれ減少し、有価証券評価損が95億円増加したことなどによります。

・経常利益が減少した一方で、価格変動準備金繰入額、法人税等が減少した結果、四半期純利益は90億円となり、前年同期より192億円減少しました。

・なお、特別損益のうち価格変動準備金繰入額は17億円であり、法定基準以上の繰入を大同生命で10億円実施しています。

基礎利益・逆ざや



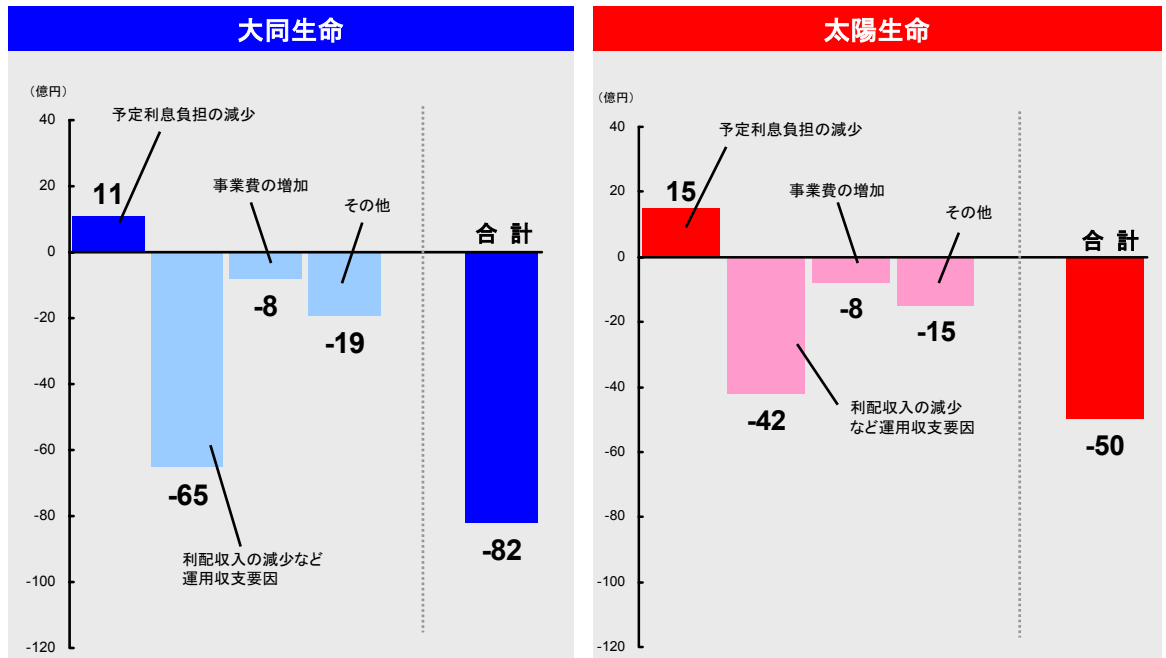
*2007年6月期の3社合算の逆ざや額は、大同生命の順ざや額35億円を控除しています。

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

- ・ 3社合算の逆ざや額は101億円となり、前年同期と比べて83億円増加しました。3社合算の基礎利益は逆ざやを埋め合わせたうえで349億円となり、前年同期と比べて121億円減少しました。
- ・ 基礎利益の減少および逆ざやの増加の主な要因は、3社合算の利息及び配当金等収入が、前年同期より138億円減少したことなどによります。

基礎利益の増減要因

2008年6月期の基礎利益の増減要因(2007年6月期比)



株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・大同生命、太陽生命の基礎利益の、前年同期からの増減要因はご覧のとおりです。

連結貸借対照表(要約)

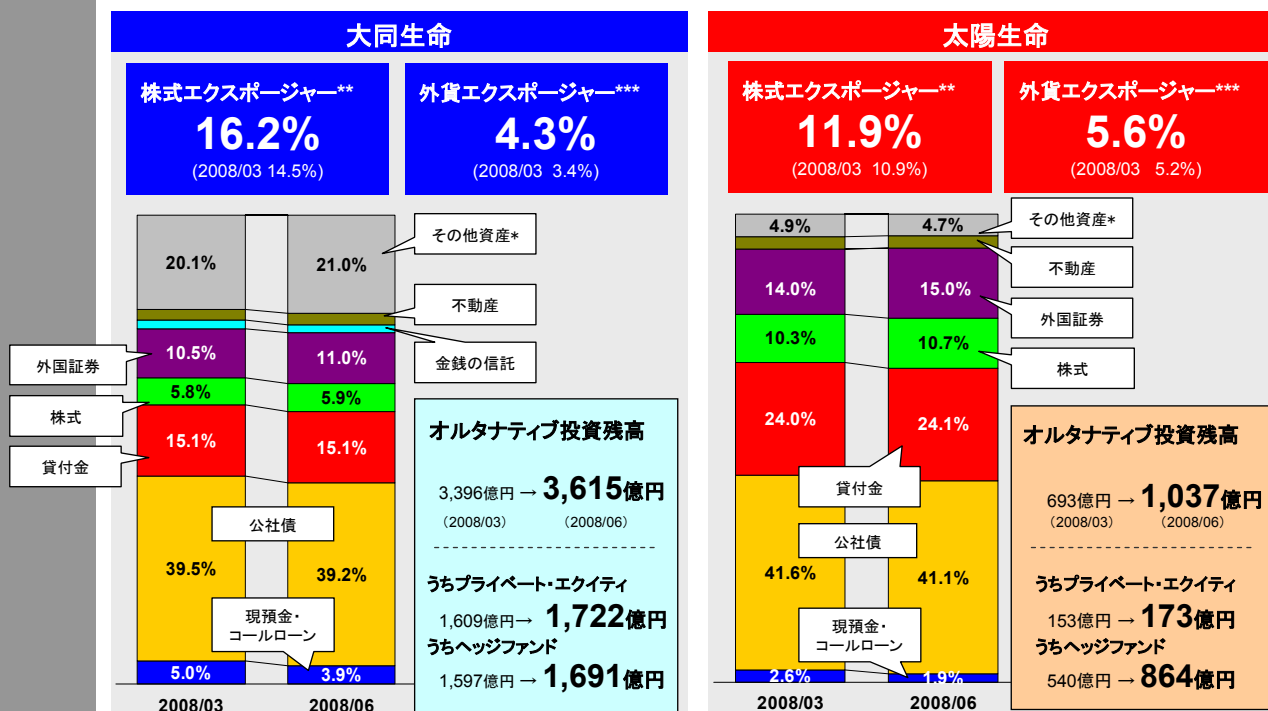
	(億円)				(億円)		
	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額		2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	4,686	5,882	▲ 1,195	保険契約準備金	120,079	121,377	▲ 1,298
買入金銭債権	5,124	4,305	818	責任準備金	117,516	118,756	▲ 1,239
金銭の信託	1,242	1,347	▲ 104	危険準備金	2,004	1,982	22
有価証券	92,935	92,445	490	価格変動準備金	1,390	1,372	17
貸付金	23,561	23,634	▲ 73	負債合計	125,447	126,887	▲ 1,440
有形固定資産	3,063	3,092	▲ 28	純資産の部			
その他資産	1,418	1,990	▲ 572	株主資本	4,690	4,759	▲ 69
繰延税金資産	383	664	▲ 280	資本金	1,185	1,185	-
貸倒引当金	▲ 38	▲ 39	0	資本剰余金	1,061	1,061	-
資産合計	132,704	133,660	▲ 956	利益剰余金	2,450	2,519	▲ 68
				評価・換算差額等	2,547	1,994	553
				その他有価証券評価差額金	3,024	2,468	556
				土地再評価差額金	▲ 480	▲ 480	▲ 0
				純資産合計	7,256	6,772	483
				負債純資産合計	132,704	133,660	▲ 956

法定繰入に加え、太陽生命で10億円の基準以上の繰入を実施

法定繰入に加え、大同生命で10億円の基準以上の繰入を実施

・要約連結貸借対照表はご覧のとおりです。

一般勘定資産構成比



*その他資産: その他の証券(主に投資信託)、繰延税金資産、買入金銭債権など **株式先物、投信、金銭の信託内の株式等を含めた実質的な株式エクスポージャー
 為替ヘッジ等を含めた実質的な外貨エクスポージャー *エクスポージャー比率の計算は各社の採用する方法によります
 *****T&Dフィナンシャル生命の変額個人年金は特別勘定で運用しています

- ・各社の一般勘定の資産構成比はご覧のとおりです。
- ・実質的な株式のエクスポージャーは、大同生命が16.2%、太陽生命が11.9%となりました。大同生命、太陽生命ともに、時価の上昇や購入等により、前期末からそれぞれ1.7ポイント、1.0ポイント上昇しました。実質的な外貨エクスポージャーは、大同生命が4.3%、太陽生命が5.6%となりました。
- ・2008年6月末のオルタナティブ投資資産残高は、大同生命が3,615億円、太陽生命が1,037億円となりました。
- ・なお、各社とも、サブプライムローンおよびサブプライムローンを証券化したCDO、モノラインが保証する米国地方債や証券化商品等への直接投資は行っていません。

一般勘定資産の差損益

(時価のあるものを対象)

(億円)

	大同生命		太陽生命		T&Dフィナンシャル生命		生保3社合算		増減額
	2008年6月期	2008年3月期	2008年6月期	2008年3月期	2008年6月期	2008年3月期	2008年6月期	2008年3月期	
合計	2,011	1,638	2,670	2,666	▲ 11	14	4,671	4,320	351
公社債	77	307	200	631	▲ 11	15	267	954	▲ 687
株式	1,334	1,147	2,583	2,105	-	-	3,918	3,253	664
外国証券	▲ 44	▲ 38	▲ 33	7	0	▲ 0	▲ 77	▲ 31	▲ 46
その他の証券	603	164	▲ 76	▲ 110	▲ 0	▲ 0	526	53	473
買入金銭債権	6	54	▲ 3	32	-	-	2	87	▲ 84
譲渡性預金	-	-	-	0	-	-	-	0	▲ 0
金銭の信託	34	3	-	-	-	-	34	3	31
土地等の差損益	349	352	359	358	-	-	708	710	▲ 1

* 大同生命の土地等の差損益は、原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格をもとに算出しています。
 ** 太陽生命の土地等の差損益は、鑑定評価額及び公示価格等をもとに算出しています。

・3社合算の時価のある有価証券の差益合計は、4,671億円となり、2008年3月末から351億円増加しました。これは、金利上昇に伴い公社債の差損益が減少した一方で、株価上昇に伴い株式、その他の証券(投資信託)等の差損益が増加したこと等によります。

健全性指標・EEV上の修正純資産

(億円)

	2008年 6月期	2008年 3月期	増減
大同生命			
ソルベンシー・マージン比率	1,103.8%	1,096.3%	7.5P
実質純資産	8,232	7,772	460
EEV上の修正純資産	5,552	5,329	222
太陽生命			
ソルベンシー・マージン比率	999.0%	1,000.6%	▲ 1.6P
実質純資産	6,569	6,597	▲ 28
EEV上の修正純資産	4,704	4,847	▲ 142
T&Dフィナンシャル生命			
ソルベンシー・マージン比率	891.2%	912.4%	▲ 21.2P
実質純資産	604	637	▲ 33
EEV上の修正純資産	365	395	▲ 29
生保3社合計			
実質純資産	15,406	15,007	398
EEV上の修正純資産	10,622	10,571	50

その他有価証券評価差額の増加などにより各数値とも増加・上昇

その他有価証券評価差額が増加した一方、責任準備金対応債券、満期保有目的債券の差損益が減少したことなどにより、減少

主に四半期純損失による

- ・ソルベンシー・マージン比率、実質純資産、EEV上の修正純資産は表のとおりです。
- ・18、19ページで、連結及び各社ごとの業績予想をお示ししています。

2009年3月期 業績予想

■ 2008年5月19日開示の予想数値から変更なし

T&Dホールディングス連結

(億円)

	2009年3月期 通期予想	2009年3月期 第1四半期	進捗率	2008年3月期 (参考)
経常収益	21,000	6,756	32.2%	23,300
経常利益	1,150	310	27.0%	1,557
当期純利益	390	90	23.3%	367

(参考) 価格変動準備金の通期の超過繰入予定額74億円
(税引後47億円)
<当四半期実績>
・大同: 10億円(税引後6億円)

生保3社合算

(億円)

	2009年3月期 通期見通し	2009年3月期 第1四半期	進捗率	2008年3月期 (参考)
新契約高*	63,500	14,791	23.3%	62,018
保有契約高*	592,700	591,431	.. -	593,403
保険料等収入	17,500	3,948	22.6%	16,131
基礎利益	1,490	349	23.4%	1,597
逆ざや		101		-

* 個人保険、個人年金保険合計。新契約高には、転換による純増加を含みます。
** 年度始より1,972億円の減少。

- ・2009年3月期の業績の見通しは表のとおりです。
- ・各指標ともほぼ通期予想ペースの進捗となりました。現時点で2008年5月19日発表の通期予想からの変更はありません。
- ・生保3社合算の契約業績、基礎利益などの進捗は表のとおりです。

(参考)2009年3月期 通期業績予想:生保3社

(億円)

	大同生命		太陽生命		T&Dフィナンシャル生命		
	2009年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期	
通期業績予想	経常収益	10,200	11,363	9,300	10,003	2,700	1,804
	保険料等収入	8,500	8,433	6,500	6,357	2,500	1,340
	経常利益	960	1,046	290	570	▲ 140	▲ 96
	基礎利益	1,070	1,248	460	530	▲ 40	▲ 181
	当期純利益	340	304	130	120	▲ 100	▲ 69
通期見通し	新契約高	43,200	46,342	17,600	14,741	2,700	933
	各社主力商品	41,700	44,898	-	-	** 1,900	933
	保有契約高	399,100	398,971	170,700	171,822	23,200	22,610
	各社主力商品	363,300	361,753	-	-	8,100	5,968
	保有契約年換算保険料	6,900	6,891	6,200	6,373	1,300	993
	逆ざや額	50	***	200	176	40	41
	解約失効率	8.5%	8.93%	7.5%	7.64%	6.5%	6.56%

* 契約高は個人保険・個人年金保険。新契約高には、転換による純増加を含みます。大同生命の主力商品は個人定期保険、T&Dフィナンシャル生命の主力商品は変額個人年金保険。
 ** 中途増額分を含みません。中途増額分を含めた収入保険料ベースの業績目標は2,000億円となります。
 *** 大同生命は217億円の逆ざやとなっています。

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・(参考)2009年3月期通期業績予想:生保3社

参考資料

✓ 損益計算書(要約)	21
✓ 貸借対照表(要約)	25
✓ 一般勘定資産構成比	29
✓ 外国証券(公社債)の内訳	31
✓ 一般勘定資産の差損益	32
✓ 基礎利益・逆ざや・平均予定利率	34
✓ 配当区分別構成比	36
✓ 健全性指標明細	38
✓ 主要業績の推移	41

・参考資料

損益計算書(要約):大同生命単体

	(億円)		
	2008年 6月期	2007年 6月期	増減額
経常収益	3,604	3,160	444
保険料等収入	2,030	2,005	25
うち個人保険・個人年金保険	1,602	1,611	▲ 9
資産運用収益	625	777	▲ 151
うち利息及び配当金等収入	310	406	▲ 95
うち金銭の信託運用益	-	70	▲ 70
うち売買目的有価証券運用益	134	148	▲ 13
うち有価証券売却益	133	79	54
うち特別勘定資産運用益	40	66	▲ 25
その他経常収益	947	377	570
うち責任準備金戻入額	906	336	570
経常費用	3,383	2,750	632
保険金等支払金	2,736	2,171	564
責任準備金等繰入額	1	2	▲ 0
資産運用費用	306	256	49
うち金銭の信託運用損	2	-	2
うち有価証券売却損	2	0	1
うち有価証券評価損	86	3	82
うち金融派生商品費用	166	176	▲ 9
うち為替差損	10	13	▲ 2
事業費	292	284	8
その他経常費用	46	35	10
経常利益	220	409	▲ 188
特別損益	▲ 11	▲ 26	14
契約者配当準備金繰入額	72	83	▲ 11
法人税等(含む調整額)	67	112	▲ 45
四半期純利益	69	186	▲ 117

主力の個人定期保険の保険料は1,334億円
(前年同期比4億円増加)

主な要因:
・プライベートエクイティファンドの分配金
▲43億円
・投資信託の分配金 ▲27億円
・株式配当 ▲14億円

主な内訳:
・団体年金保険金 +333億円
・団体年金解約返戻金 +198億円
・団体年金その他返戻金 +110億円

主な内訳:
・その他の証券 72億円(国内PEファンド)
・外国証券 9億円(CLOエクイティ)
・国内株式・金銭の信託 4億円

主な内訳(前年同期比増減):
・為替予約 169億円(▲9億円)
・株式先物 8億円(+5億円)
・金利スワップ ▲11億円(▲8億円)

うち価格変動準備金繰入額 ▲17億円
(うち超過繰入 ▲10億円)

21

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・損益計算書(要約):大同生命単体

損益計算書(要約): 太陽生命単体

	(億円)		
	2008年 6月期	2007年 6月期	増減額
経常収益	2,836	2,865	▲ 29
保険料等収入	1,722	1,794	▲ 71
資産運用収益	505	602	▲ 97
うち利息及び配当金等収入	309	352	▲ 42
うち有価証券売却益	193	245	▲ 52
その他経常収益	607	467	140
うち責任準備金戻入額	485	381	104
経常費用	2,724	2,584	139
保険金等支払金	2,206	2,157	48
責任準備金等繰入額	0	0	0
資産運用費用	185	139	46
うち有価証券売却損	75	49	25
うち有価証券評価損	20	7	12
うち金融派生商品費用	73	63	9
事業費	197	189	8
その他経常費用	134	97	36
経常利益	111	280	▲ 168
特別損益	▲ 0	▲ 52	51
契約者配当準備金繰入額	32	36	▲ 4
法人税等(含む調整額)	39	68	▲ 29
四半期純利益	39	121	▲ 82

主な内訳(前年同期比増減):
 ・個保・個年1,399億円(▲40億円)
 ・団体年金242億円(▲25億円)

主な増減要因:
 ・円建債券の利息増加 +13億円
 ・外貨建債券の利息減少 ▲26億円
 ・国内投信の配当金減少 ▲18億円
 ・国内外株式の配当減少 ▲8億円

主な内訳(前年同期比増減):
 ・株式等 128億円(▲30億円)
 ・外国証券 55億円(▲31億円)
 ・国債等債券 9億円(+9億円)

主な内訳(前年同期比増減):
 ・個保・個年 1,785億円(+5億円)
 うち個人保険の満期保険金 714億円
 (▲73億円)
 ・団体年金 366億円(+39億円)

主な内訳(前年同期比増減):
 ・株式等 28億円(+15億円)
 ・外国証券 35億円(+32億円)
 ・国債等債券 10億円(▲23億円)

主な内訳(前年同期比増減):
 ・為替関連 ▲72億円(▲8億円)
 (うちヘッジ会計適用分 ▲27億円(+8億円))
 ・株式関連 ▲1億円(▲1億円)

価格変動準備金繰入額0.8億円(▲51億円)

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・損益計算書(要約): 太陽生命単体

損益計算書(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

(億円)

	2008年 6月期	2007年 6月期	増減額
経常収益	418	732	▲ 314
保険料等収入	194	484	▲ 289
資産運用収益	195	223	▲ 27
うち利息及び配当金等収入	10	10	▲ 0
うち特別勘定資産運用益	185	211	▲ 26
その他経常収益	27	25	2
経常費用	445	754	▲ 309
保険金等支払金	206	263	▲ 57
責任準備金等繰入額	156	420	▲ 264
資産運用費用	48	22	25
うち金銭の信託運用損	47	22	25
事業費	29	40	▲ 11
その他経常費用	5	6	▲ 1
経常利益	▲ 27	▲ 21	▲ 5
特別損益	▲ 0	▲ 0	▲ 0
契約者配当準備金繰入額	0	0	▲ 0
法人税等(含む調整額)	▲ 8	▲ 6	▲ 1
四半期純利益	▲ 19	▲ 15	▲ 3

うち変額年金の保険料収入は135億円となり、前年同期から267億円減少

うち変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金は19億円の戻入

・損益計算書(要約):T&Dフィナンシャル生命単体

損益計算書(要約): T&Dアセットマネジメント単体

(百万円)

	2008年 6月期	2007年 6月期	増減額
営業収益	1,694	1,754	▲ 60
委託者報酬	1,094	1,101	▲ 6
運用受託報酬等	600	653	▲ 53
営業費用	724	643	80
支払手数料	390	354	36
その他	334	289	44
一般管理費	675	567	108
営業利益	293	543	▲ 249
営業外収益	4	3	0
営業外費用	0	0	0
経常利益	298	547	▲ 249
特別損益	▲ 0	-	▲ 0
税引前四半期純利益	297	547	▲ 249
法人税等(含む過年度法人税、調整額)	133	224	▲ 91
四半期純利益	164	323	▲ 158

・損益計算書(要約):T&Dアセットマネジメント単体

貸借対照表(要約):大同生命単体

	(億円)				(億円)		
	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額		2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	2,293	2,972	▲ 679	保険契約準備金	52,974	53,921	▲ 947
買入金銭債権	3,560	2,700	860	責任準備金	51,258	52,165	▲ 906
金銭の信託	970	1,046	▲ 75	危険準備金	827	826	0
有価証券	41,437	41,596	▲ 158	その他負債	648	1,018	▲ 369
公社債	23,282	23,940	▲ 658	価格変動準備金	752	735	16
株式	3,779	3,756	23	負債の部合計	55,451	56,734	▲ 1,283
外国証券	6,679	6,534	144	純資産の部			
その他の証券	7,695	7,363	331	株主資本	2,606	2,618	▲ 12
貸付金	8,801	8,903	▲ 102	資本金	750	750	-
有形固定資産	1,388	1,404	▲ 16	資本剰余金	0	0	-
その他資産	631	1,315	▲ 684	利益剰余金	1,855	1,867	▲ 12
繰延税金資産	297	441	▲ 144	評価・換算差額等	1,410	1,125	284
資産の部合計	59,468	60,478	▲ 1,010	その他有価証券評価差額金	1,404	1,118	285
				純資産の部合計	4,016	3,744	272
				負債及び純資産の部合計	59,468	60,478	▲ 1,010

・公社債: 評価差損益の減少、地方債・短期国債の償還などにより減少
 ・外国証券: 主に円安進行とプライベート・エクイティの積み増しにより増加
 ・その他の証券: 主に国内株式投信の時価上昇により増加

・貸借対照表(要約):大同生命単体

貸借対照表(要約): 太陽生命単体

(億円)				(億円)			
	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額		2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	1,148	1,598	▲ 450	保険契約準備金	56,816	57,311	▲ 494
有価証券	41,990	41,524	466	責任準備金	56,034	56,520	▲ 485
公社債	25,360	25,751	▲ 390	危険準備金	1,028	1,019	9
株式	6,635	6,385	250	価格変動準備金	633	632	0
外国証券	9,290	8,672	618	繰延税金負債	24	-	24
その他の証券	704	715	▲ 11	負債の部合計	58,972	59,312	▲ 340
貸付金	14,850	14,818	31	純資産の部			
有形固定資産	1,613	1,622	▲ 8	株主資本	1,624	1,663	▲ 39
繰延税金資産	-	112	▲ 112	資本金	375	375	-
貸倒引当金	▲ 25	▲ 25	0	資本剰余金	375	375	-
資産の部合計	61,746	61,855	▲ 109	利益剰余金	874	913	▲ 39
				評価・換算差額等	1,150	879	270
				その他有価証券評価差額金	1,633	1,361	271
				土地再評価差額金	▲ 480	▲ 480	▲ 0
				純資産の部合計	2,774	2,543	231
				負債及び純資産の部合計	61,746	61,855	▲ 109

・公社債:主に残高の圧縮により減少
 ・株式:主に時価の上昇により増加
 ・外国証券:主にヘッジファンドの積み増し、株価指数連動型商品の残高拡大により増加

・貸借対照表(要約): 太陽生命単体

貸借対照表(要約): T&Dフィナンシャル生命単体

(億円)				(億円)			
	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額		2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
現預金・コール	491	501	▲ 9	保険契約準備金	10,262	10,115	146
金銭の信託	272	301	▲ 29	責任準備金	10,197	10,041	156
有価証券	9,530	9,348	182	危険準備金	148	135	12
公社債	3,552	3,601	▲ 49	価格変動準備金	4	4	0
株式	10	9	0	負債の部合計	10,363	10,220	143
外国証券	20	20	0	純資産の部			
その他の証券	5,947	5,717	230	株主資本	261	281	▲ 19
貸付金	70	72	▲ 2	資本金	360	360	-
有形固定資産	3	3	0	資本剰余金	260	260	-
無形固定資産	33	33	0	利益剰余金	▲ 358	▲ 338	▲ 19
その他資産	50	65	▲ 14	評価・換算差額等	▲ 13	▲ 11	▲ 1
繰延税金資産	88	87	0	その他有価証券評価差額金	▲ 13	▲ 11	▲ 1
資産の部合計	10,612	10,489	123	純資産の部合計	248	269	▲ 20
				負債及び純資産の部合計	10,612	10,489	123

投資信託の時価上昇により増加

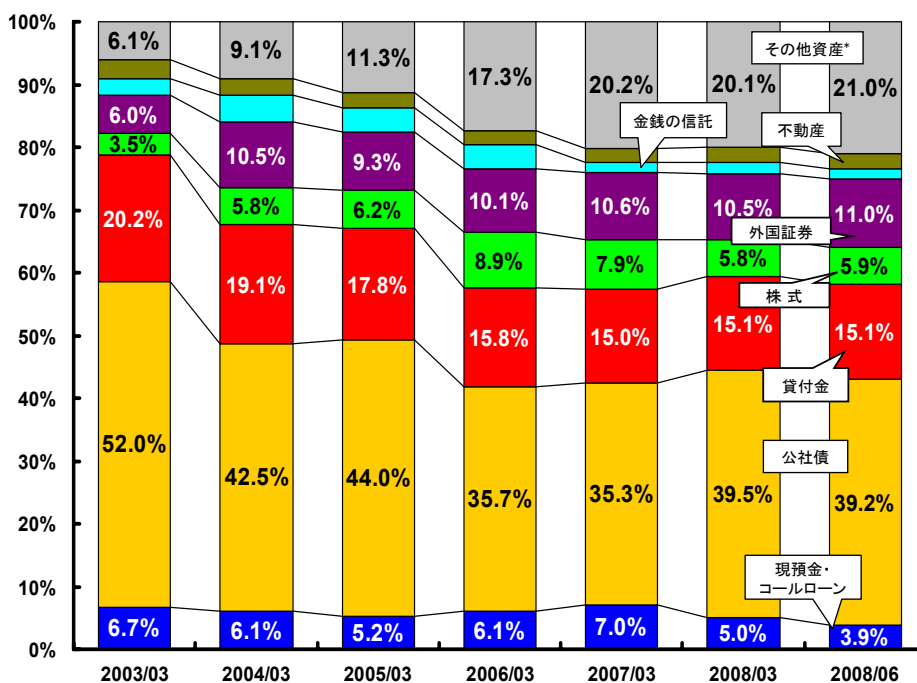
・貸借対照表(要約):T&Dフィナンシャル生命単体

貸借対照表(要約): T&Dアセットマネジメント単体

(百万円)				(百万円)			
	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額		2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
資産の部				負債の部			
流動資産	7,516	8,461	▲ 944	流動負債	950	1,572	▲ 621
預金	5,320	6,725	▲ 1,405	未払金	569	673	▲ 103
未収委託者報酬	1,392	736	656	未払費用	245	230	15
未収運用受託報酬等	615	697	▲ 82	その他	135	669	▲ 533
その他	188	302	▲ 113	固定負債	219	207	11
固定資産	888	874	14	退職給付引当金	219	207	11
有形固定資産	167	169	▲ 1	負債合計	1,170	1,780	▲ 609
無形固定資産	45	33	11	純資産の部			
投資その他の資産	674	671	3	株主資本	7,234	7,555	▲ 320
資産合計	8,405	9,335	▲ 930	資本金	1,100	1,100	-
				資本剰余金	277	277	-
				利益剰余金	5,857	6,177	▲ 320
				評価・換算差額等	▲ 0	-	▲ 0
				純資産の部合計	7,234	7,555	▲ 320
				負債純資産合計	8,405	9,335	▲ 930

・貸借対照表(要約):T&Dアセットマネジメント単体

一般勘定資産構成比: 大同生命



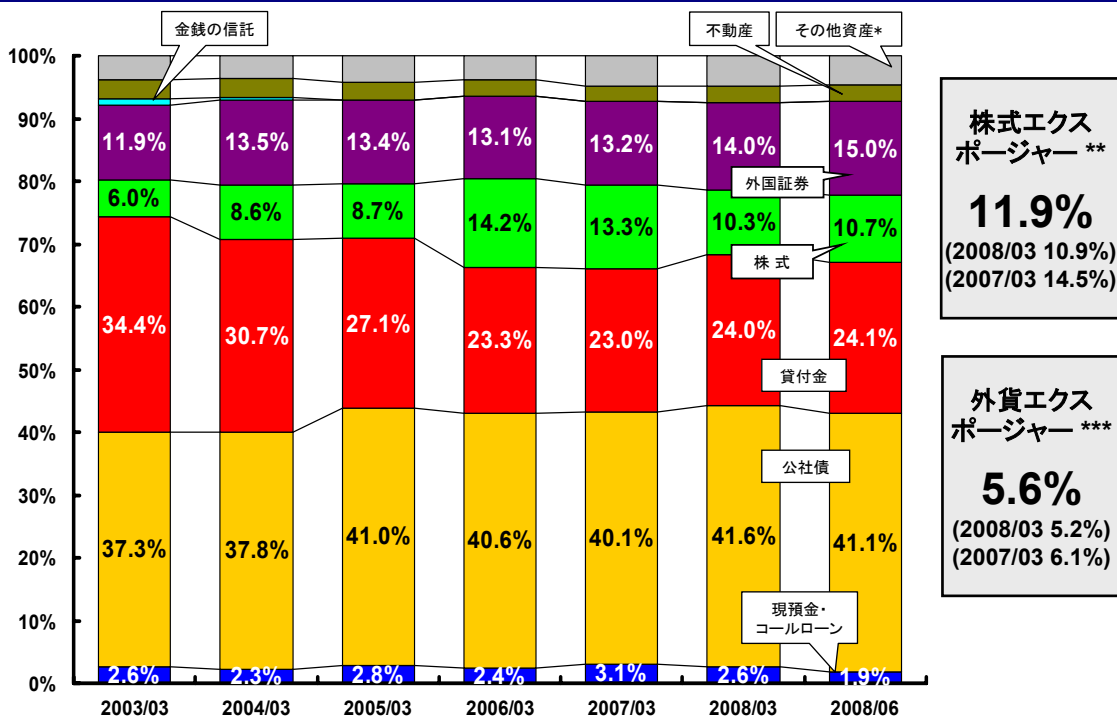
株式エクスポージャー **
16.2%
(2008/03 14.5%)
(2007/03 18.1%)

外貨エクスポージャー ***
4.3%
(2008/03 3.4%)
(2007/03 3.4%)

* 2008年6月期のその他資産: その他の証券(主に投資信託) 13.2%、買入金銭債権 6.1% など ** 株式先物、投信、金銭の信託内の株式等を含めた実質的な株式エクスポージャー
*** 為替ヘッジ等を含めた実質的な外貨エクスポージャー
株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・一般勘定資産構成比: 大同生命

一般勘定資産構成比: 太陽生命



株式エクスポージャー **
11.9%
(2008/03 10.9%)
(2007/03 14.5%)

外貨エクスポージャー ***
5.6%
(2008/03 5.2%)
(2007/03 6.1%)

* 2008年6月期のその他資産: 買入金銭債権 2.5%、その他の証券(主に投資信託) 1.1%など ** ヘッジ、株式投信等を含めた実質的な株式エクスポージャー
*** 為替ヘッジ等を反映した実質的な外貨エクスポージャー

・一般勘定資産構成比: 太陽生命

外国証券(公社債)の内訳

(億円)

	大同生命 (2008年6月期)		太陽生命 (2008年6月期)	
外国国債	620	30.0%	4,825	90.7%
うち BBB格以上	620	30.0%	4,825	90.7%
国際機関債	30	1.5%	71	1.4%
うち BBB格以上	30	1.5%	71	1.4%
政府関係機関債・公企業債	56	2.7%	64	1.2%
うち BBB格以上	56	2.7%	64	1.2%
外国地方債	30	1.5%	-	-
うち BBB格以上	30	1.5%	-	-
外国事業債	1,332	64.4%	357	6.7%
うち BBB格以上	1,327	64.1%	357	6.7%
合計	2,070	100.0%	5,318	100.0%

* 「BBB格以上」は各社の社内格付けに基づいて分類しています

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・外国証券(公社債)の内訳

一般勘定資産の差損益:大同生命

(億円)

	満期保有目的債券 の含み損益		その他有価証券 の評価差損益		合計		
	2008年 6月期	2008年 3月期	2008年 6月期	2008年 3月期	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
合計	▲ 0	▲ 0	2,012	1,639	2,011	1,638	373
公社債	▲ 0	▲ 0	78	307	77	307	▲ 229
株式	-	-	1,334	1,147	1,334	1,147	186
外国証券	-	-	▲ 44	▲ 38	▲ 44	▲ 38	▲ 5
その他の証券	-	-	603	164	603	164	439
買入金銭債権	-	-	6	54	6	54	▲ 48
金銭の信託	-	-	34	3	34	3	31
土地等					349	352	▲ 2

* 有価証券のうち、時価のあるものを対象としています。

** 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格をもとに算出しています。

・一般勘定資産の差損益:大同生命

一般勘定資産の差損益: 太陽生命

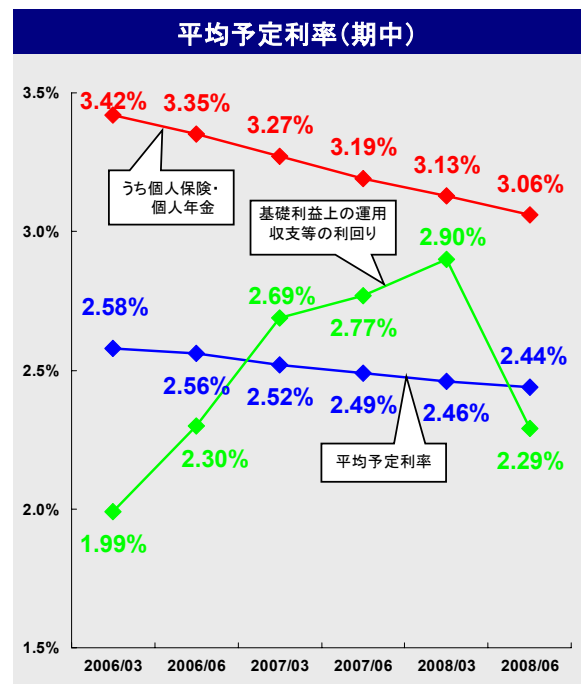
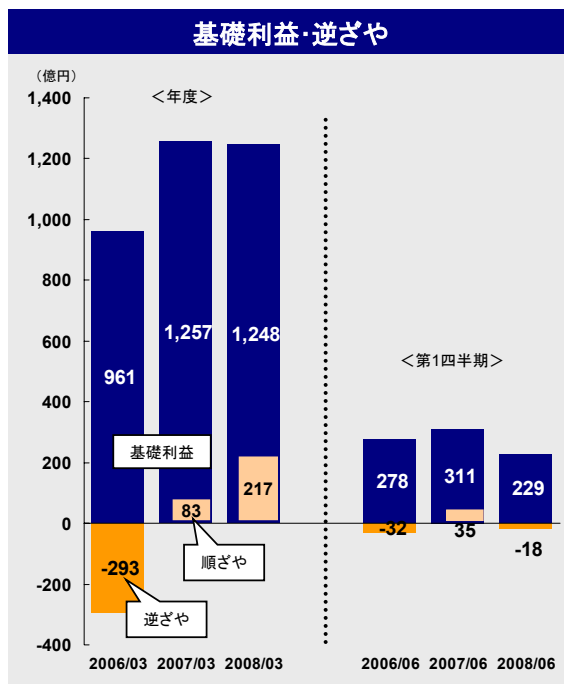
(億円)

	満期保有目的債券 の含み損益		責任準備金対応 債券の含み損益		その他有価証券 の評価差損益		合計		
	2008年 6月期	2008年 3月期	2008年 6月期	2008年 3月期	2008年 6月期	2008年 3月期	2008年 6月期	2008年 3月期	増減額
合計	▲ 30	44	160	492	2,540	2,129	2,670	2,666	3
公社債	▲ 30	14	160	492	70	124	200	631	▲ 431
株式	-	-	-	-	2,583	2,105	2,583	2,105	478
外国証券	-	-	-	-	▲ 33	7	▲ 33	7	▲ 40
その他の証券	-	-	-	-	▲ 76	▲ 110	▲ 76	▲ 110	33
買入金銭債権	▲ 0	30	-	-	▲ 3	2	▲ 3	32	▲ 35
譲渡性預金	-	0	-	-	-	-	-	0	▲ 0
金銭の信託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土地等							359	358	1

* 有価証券のうち、時価のあるものを対象としています。
** 土地等の差損益については、鑑定評価額及び公示価格等をもとに算出しています。

・一般勘定資産の差損益: 太陽生命

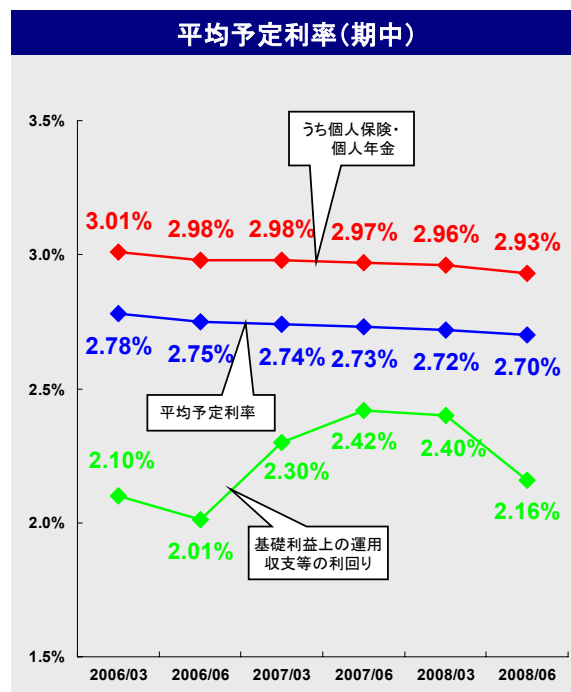
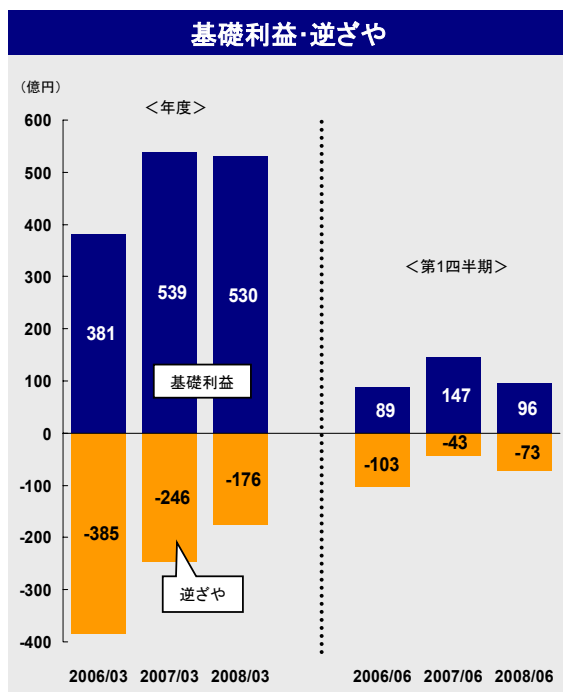
基礎利益・逆ざや・平均予定利率:大同生命



株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・基礎利益・逆ざや・平均予定利率:大同生命

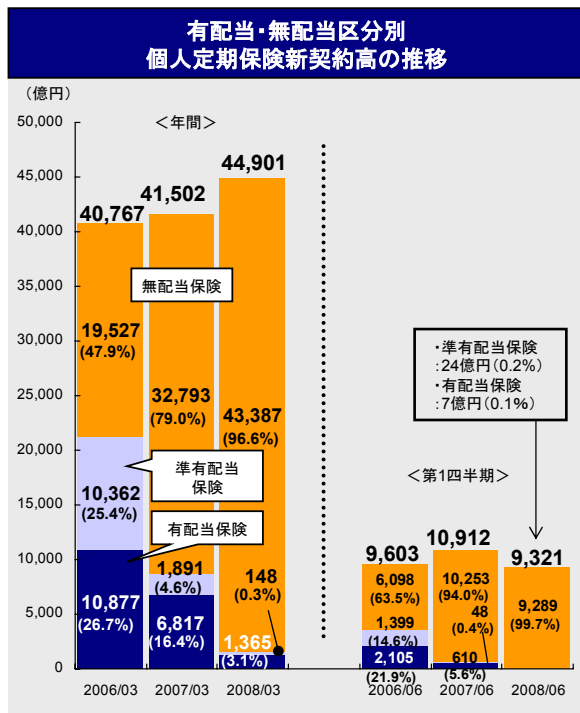
基礎利益・逆ざや・平均予定利率:太陽生命



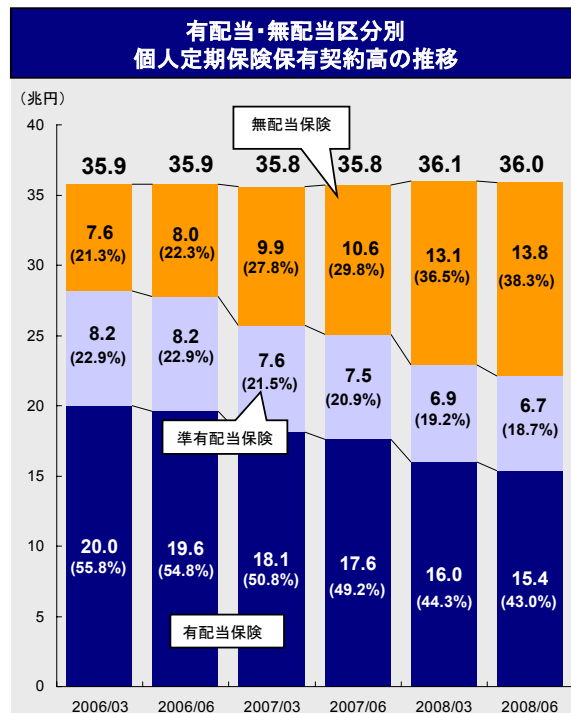
株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・基礎利益・逆ざや・平均予定利率:太陽生命

配当区分別構成比: 大同生命



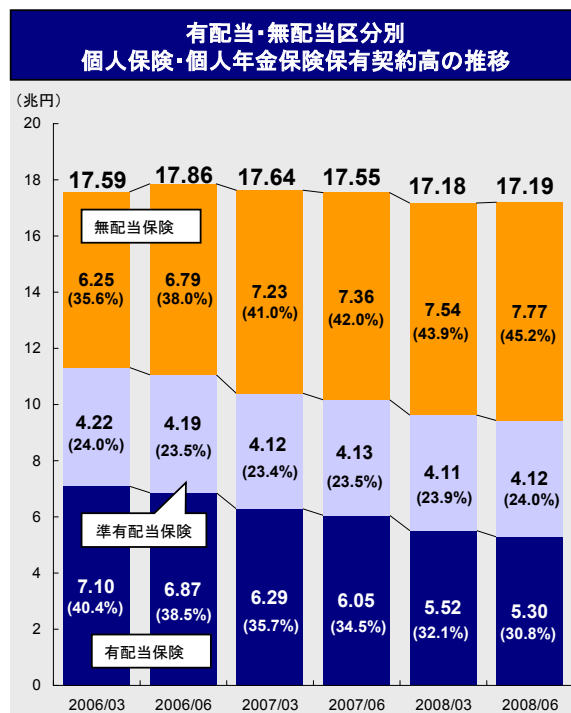
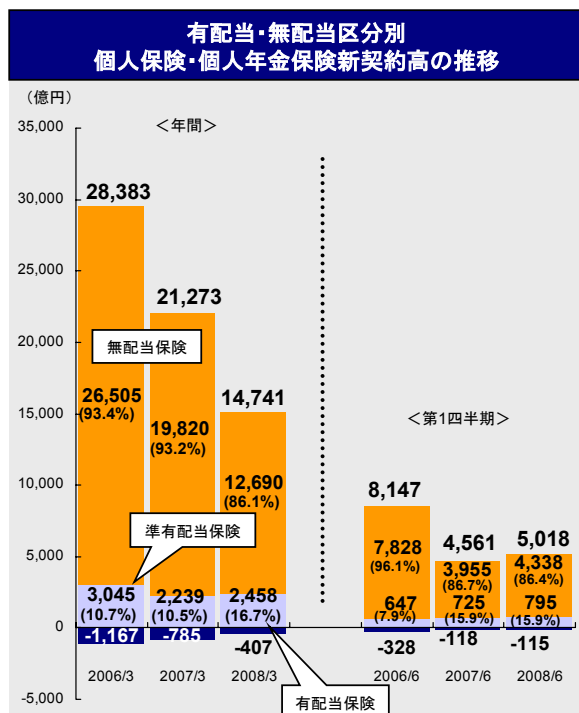
* 新契約高には転換純増加高を含みません



株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・配当区分別構成比: 大同生命

配当区分別構成比: 太陽生命



* 上表は、主契約・特約単位別に区分をしたものです。新契約高には、転換による純増加を含みます。

・配当区分別構成比: 太陽生命

健全性指標明細:大同生命

(百万円)

項目	①EEV上の修正純資産	②実質純資産	③ソルベンシー・マージン	
純資産合計(除く評価・換算差額等)	260,615	260,615	260,615	
▲不動産圧縮積立金	-	-	▲ 1,559	
▲社外流出予定額	-	-	▲ 2,853	③株主配当金
その他有価証券評価差額金	140,436	219,810	197,829	①税引後 ②税引前 ③税引前の90%
貸付金の含み損益	14,384	-	-	①税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	620	620	-	①②税引後
土地の含み損益	22,350	34,982	29,734	①税引後 ②税引前 ③税引前の85%
価格変動準備金	75,213	75,213	75,213	
危険準備金	82,729	82,729	82,729	
配当準備金中の未割当額	18,605	18,605	18,605	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	130,758	130,758	
将来利益	-	-	14,486	
▲負債中内部留保に係る税効果	▲ 63,751	-	-	①(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)×税率(36.11%)
税効果相当額	-	-	94,844	
一般貸倒引当金	110	-	172	①税引後 ③税引前
負債性資本調達手段等	-	-	-	劣後ローン等取り入れ時には③にのみカウント
負債性資本の含み損益	-	-	-	
有価証券含み損益(満期保有等)	3,909	▲ 94	-	①税引後(子会社・関連会社株式の含み損益を含む) ②税引前
合計	555,224	823,241	900,578	

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・健全性指標明細:大同生命

健全性指標明細: 太陽生命

(百万円)

項目	①EEV上の修正純資産	②実質純資産	③ソルベンシー・マージン	
純資産合計(除く評価・換算差額)	162,400	162,400	162,400	
▲不動産圧縮積立金	-	-	-	
▲社外流出予定額	-	-	▲ 1,150	③株主配当金
その他有価証券評価差額金	162,814	254,795	229,315	①税引後 ②税引前 ③税引前の90%
貸付金の含み損益	16,373	-	-	①税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	▲ 526	▲ 257	-	①金利スワップの特例処理分を含む(税引後) ②税引後
土地の含み損益	▲ 908	▲ 12,121	▲ 1,421	①税引後(土地再評価に係る差損益を含む) ②税引前(B/S上の土地再評価差額金を含む) ③税引前(土地再評価に係る差損益を含む)
価格変動準備金	63,384	63,384	63,384	
危険準備金	102,892	102,892	102,892	
配当準備金中の未割当額	22,154	22,154	22,154	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	50,640	50,640	
将来利益	-	-	6,982	
▲負債中内部留保に係る税効果	▲ 68,023	-	-	①(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)×税率(36.1%)
税効果相当額	-	-	48,726	
一般貸倒引当金	1,033	-	1,616	①税引後 ③税引前
負債性資本調達手段等	-	-	55,000	劣後ローン等取り入れ時には③にのみカウント
負債性資本の含み損益	▲ 351	-	-	①税引後
有価証券含み損益(満期保有等)	9,223	13,017	-	①税引後(子会社・関係会社株式の含み損益を含む) ②税引前
合計	470,466	656,906	740,542	

株式会社T&Dホールディングス 2009年3月期第1四半期決算のご説明

・健全性指標明細: 太陽生命

健全性指標明細: T&Dフィナンシャル生命



(百万円)

項目	①EEV上の修正純資産	②実質純資産	③ソルベンシー・マージン	
純資産合計(除く評価・換算差額等)	26,185	26,185	26,185	
▲不動産圧縮積立金	-	-	-	
▲社外流出予定額	-	-	-	③株主配当金+役員賞与金
その他有価証券評価差額金	▲ 1,308	▲ 1,869	▲ 1,869	①(その他有価証券の含み損益)×(1-法人税率(30%)) ②税引前 ③税引前の90%
貸付金の含み損益	489	-	-	①税引後
ヘッジ会計適用に伴う差損益	-	-	-	①税引後
土地の含み損益	-	-	-	①税引後 ②③税引前
価格変動準備金	420	420	420	
危険準備金	14,822	14,822	14,822	
配当準備金中の未割当額	-	-	-	
全期テメル式責任準備金相当額超過額	-	20,197	27,488	変額年金に係る再保険賃を②は除く、③は含む
将来利益	-	-	91	
▲負債中内部留保に係る税効果	▲ 4,572	-	-	①(価格変動準備金+危険準備金+配当準備金中の未割当額)×法人税率分(30%)
税効果相当額	-	-	-	
一般貸倒引当金	3	-	4	①税引後 ③税引前
負債性資本調達手段等	-	-	-	劣後ローン等取り入れ時には③にのみカウント
負債性資本の含み損益	-	-	-	
有価証券含み損益(満期保有)	502	718	-	①税引後②税引前
合計	36,541	60,474	67,143	

・健全性指標明細: T&Dフィナンシャル生命

主要業績の推移: 3社合算

■ 2001年3月期以前は大同生命・太陽生命の単体合算数値を、2002年3月期以降はT&D
ファイナンシャル生命を含めた3社単純合算数値を記載しています。

(億円)

(各年3月期)	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
保有契約高 *1	544,660	544,129	542,561	541,622	577,821	579,255	585,084	595,735	602,650	598,999	593,403
新契約高 *1 *2	67,084	66,302	64,679	63,332	69,329	73,165	75,680	75,449	72,938	66,347	62,018
保険料等収入	24,973	24,275	22,921	21,696	21,137	20,047	18,785	17,989	19,023	18,115	16,131
解約失効高 *1 *2	46,492	47,927	48,440	47,280	47,028	52,157	51,991	48,757	51,027	53,625	50,642
基礎利益	1,354	1,145	969	1,281	1,265	1,142	1,417	1,298	1,272	1,733	1,597
契約者配当準備金繰入額 *3	553	499	561	443	436	396	436	449	444	564	453
営業職員数(人)	15,920	16,576	15,567	14,142	15,089	14,942	14,915	14,492	13,872	12,842	11,926
募集代理店数(店) *4	13,454	13,701	13,807	13,888	13,942	13,710	13,877	14,095	14,528	14,748	14,862
総資産	121,720	124,519	128,152	131,667	134,154	131,489	131,097	129,875	139,322	140,280	132,824

*1 個人保険、個人年金保険の合計 *2 新契約高には転換純増加高を含む *3 大同生命では2001年3月期まで、太陽生命では2002年3月期までは社員配当準備金繰入額を、大同生命の2002年3月期、太陽生命の2003年3月期は契約者配当引当金繰入額を記載 *4 大同生命と太陽生命の合計

・主要業績の推移: 3社合算

主要業績の推移: 大同生命

(億円)

(各年3月期)	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
保有契約高 *1	393,400	392,838	390,711	389,897	389,291	393,426	392,948	396,942	400,080	397,320	398,971
うち個人定期保険	337,616	338,650	339,408	341,096	343,090	348,046	349,641	354,796	359,336	358,181	361,753
新契約高 *2	47,192	47,732	46,203	44,014	45,704	46,735	43,097	43,542	42,927	43,278	46,342
うち個人定期保険	40,737	42,416	42,513	40,486	42,929	42,985	40,873	41,260	40,807	41,419	44,898
保険料等収入	11,684	11,928	11,369	10,722	10,594	9,894	9,282	8,848	8,711	8,652	8,433
うち個人保険保険料 *1	7,249	7,026	6,848	6,867	6,620	6,849	6,410	6,642	6,678	6,738	6,694
解約失効高 *1	36,257	38,765	38,451	35,269	34,932	32,906	33,177	30,265	30,400	36,158	35,500
解約失効率 (%)	9.3%	9.9%	9.8%	9.0%	9.0%	8.45%	8.44%	7.70%	7.66%	9.04%	8.93%
基礎利益	1,354	1,145	969	1,142	1,098	887	1,073	1,027	961	1,257	1,248
契約者配当準備金繰入額 *3	399	343	395	332	306	265	305	305	273	400	312
営業職員数(人)	6,072	6,126	5,456	4,866	5,154	5,194	5,251	4,888	4,909	4,726	4,307
募集代理店数(店)	13,123	13,213	13,135	13,203	13,252	12,970	13,079	13,415	13,963	14,295	14,460
総資産	53,463	54,826	57,335	59,003	59,827	60,071	60,179	59,837	64,061	63,970	60,478

*1 個人保険、個人年金保険の合計 *2 新契約高には転換純増加高を含む

*3 2001年3月期までは社員配当準備金繰入額を、2002年3月期は契約者配当引当金繰入額を記載

・主要業績の推移: 大同生命

主要業績の推移: 太陽生命

(億円)

(各年3月期)	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
保有契約高 ^{*1}	151,260	151,291	151,850	151,725	152,329	152,686	160,778	169,662	175,915	176,445	171,822
うち個人保険	104,481	101,867	100,340	99,588	102,173	105,002	115,779	127,065	135,720	138,203	134,683
新契約高 ^{*1*2}	19,891	18,570	18,476	19,317	21,881	21,754	28,142	28,910	28,383	21,273	14,741
うち個人保険	16,506	13,398	13,332	14,581	20,479	20,910	27,972	29,024	28,615	21,070	13,721
保険料等収入	13,288	12,346	11,552	10,973	10,190	8,879	7,941	7,881	8,230	7,055	6,357
うち個人保険・個人年金保険	11,040	10,950	9,724	9,148	8,378	7,621	6,802	6,466	6,092	5,765	5,320
解約失効高 ^{*1}	10,235	9,161	9,988	12,011	12,096	13,188	13,626	14,240	16,440	15,038	13,486
解約失効率 ^{*1}	6.78%	6.06%	6.60%	7.91%	7.97%	8.66%	8.92%	8.86%	9.69%	8.55%	7.64%
基礎利益	—	—	—	139	138	287	375	338	381	539	530
契約者配当準備金繰入額 ^{*3}	153	155	166	111	108	112	119	134	159	150	139
営業職員数(人)	9,848	10,450	10,111	9,276	8,948	8,808	8,703	9,111	8,963	8,116	7,619
募集代理店数(店)	241	488	672	685	690	740	798	680	505	453	402
総資産	68,256	69,693	70,816	72,663	68,340	65,280	64,095	62,765	65,919	65,525	61,855

*1 個人保険+個人年金保険 *2 新契約高には、転換による純増加を含む

*3 2002年3月期までは社員配当準備金繰入額を、2003年3月期は契約者配当引当金繰入額を記載

・主要業績の推移: 太陽生命

主要業績の推移: T&Dフィナンシャル生命



(億円)

(各年3月期)	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
保有契約高 ^{*1}	36,201	33,142	31,357	29,130	26,654	25,233	22,610
うち変額個人年金	13	641	1,751	2,457	4,595	6,215	5,968
新契約高 ^{*1}	1,743	4,675	4,440	2,997	1,627	1,795	933
うち変額個人年金	12	651	904	608	1,286	1,795	933
保険料等収入	352	1,274	1,561	1,260	2,081	2,407	1,340
うち変額個人年金	12	663	1,008	772	1,642	2,024	1,037
解約失効高 ^{*1}	7,229	6,062	5,187	4,251	4,186	2,427	1,655
解約失効率 (%)	17.05%	16.75%	15.65%	13.56%	14.37%	9.11%	6.56%
基礎利益	27	▲ 32	▲ 31	▲ 67	▲ 70	▲ 64	▲ 181
契約者配当準備金繰入額	21	18	12	10	12	13	1
営業職員数 (人)	987	940	954	493	-	-	-
総資産	5,986	6,136	6,822	7,272	9,341	10,784	10,489

^{*1}個人保険、個人年金保険の合計

^{*2} T&Dフィナンシャル生命は、更生特例法に基づき2001年4月1日から2001年9月30日までを事業年度としているため、2002年3月期は、組織変更後の2001年10月1日から2002年3月31日までを事業年度として決算手続きを行っています。

・主要業績の推移: T&Dフィナンシャル生命

本資料への問い合わせ先

T&Dホールディングス
経営企画部 IRグループ
電話:03 (3434) 9142

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。

・お問い合わせ先